

福山市高齢者おでかけ支援事業

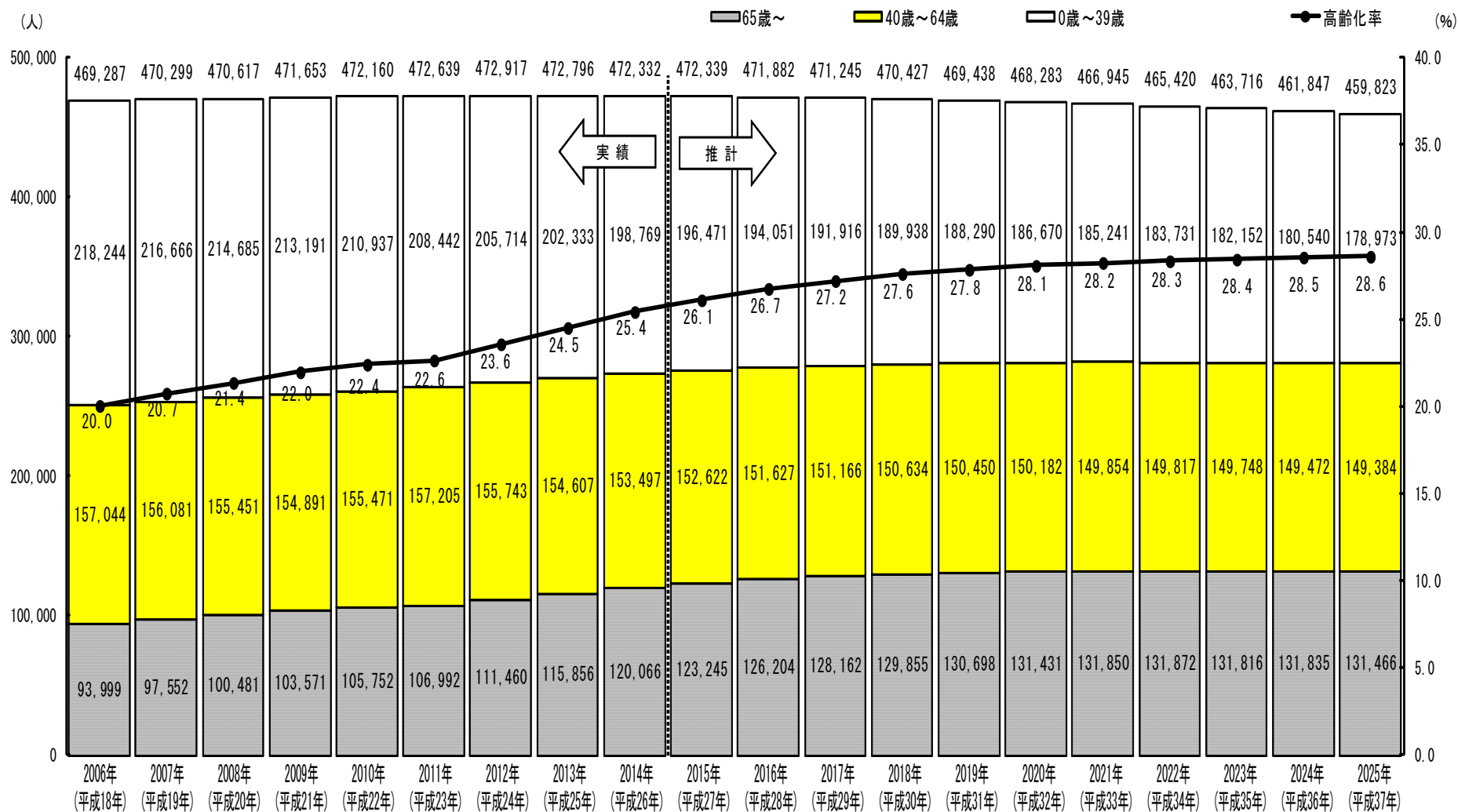


● 2015年(平成27年)9月

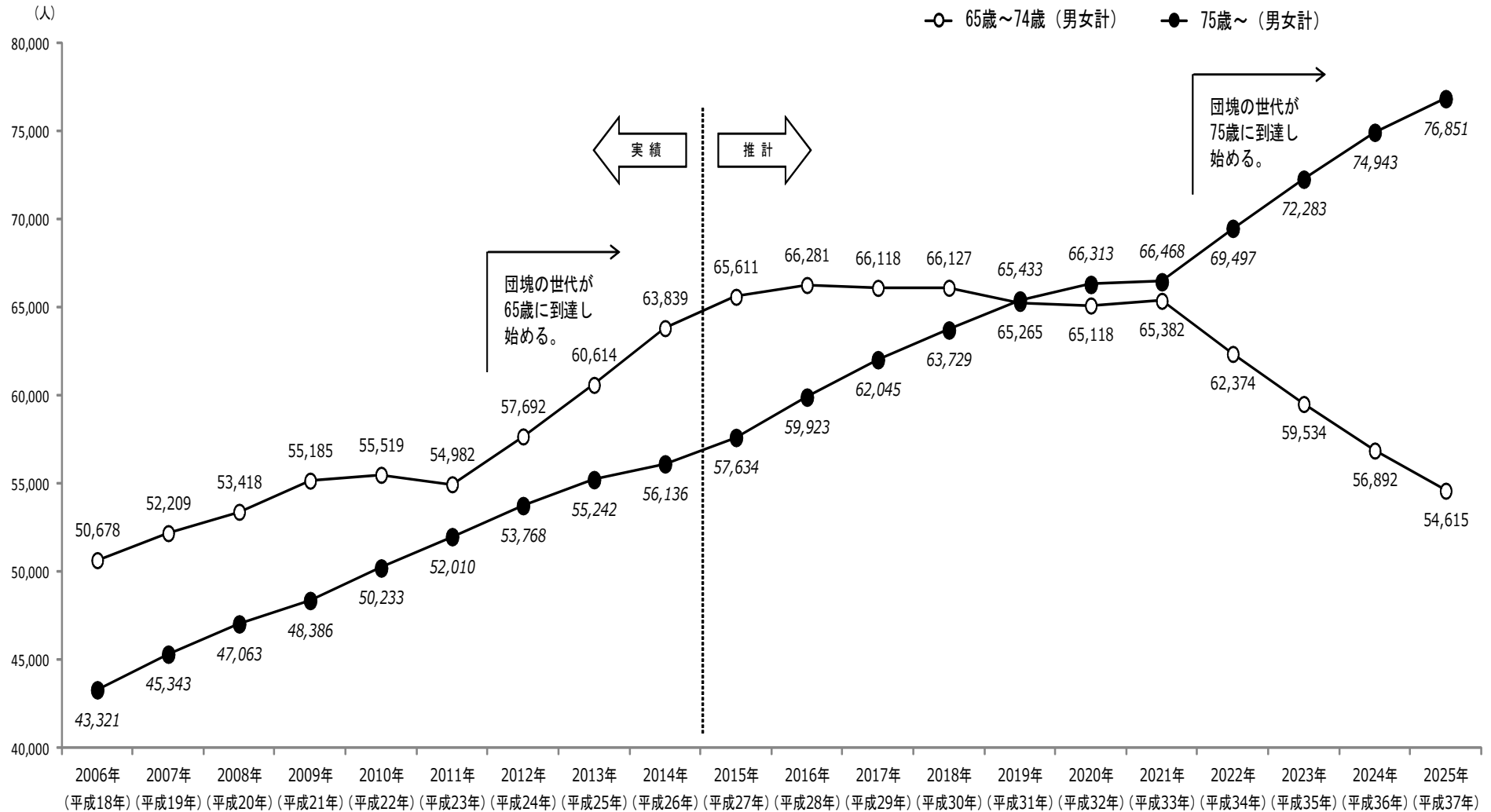
(福山市 保健福祉局

長寿社会応援部 高齢者支援課)

福山市の総人口の推移と将来推計について



福山市の高齢者人口の推移と将来推計について



事業創設までの取り組みについて

(2008年度(平成20年度)検討資料より)

【背景】

少子・高齢化の進展により、21世紀半ばには国民の3人に1人が高齢者という未曾有の高齢社会を迎え、これまで65歳以上の高齢者1人を3.3人で支えていたものが、1.3人で支える社会になることが予測されている。

この前例のない高齢社会を安心と活力あるものにしていくためには、高齢者は支えられるという受身の姿勢だけでなく、元気な高齢者は高齢社会を支える貴重なマンパワーであるという新しい視点からの取組が不可欠となっている。

事業創設までの取り組みについて (2008年度(平成20年度)検討資料より)

【支援策の検討】

高齢者のニーズに対応した新たな支援策について今後の方向性を検討していく必要がある。

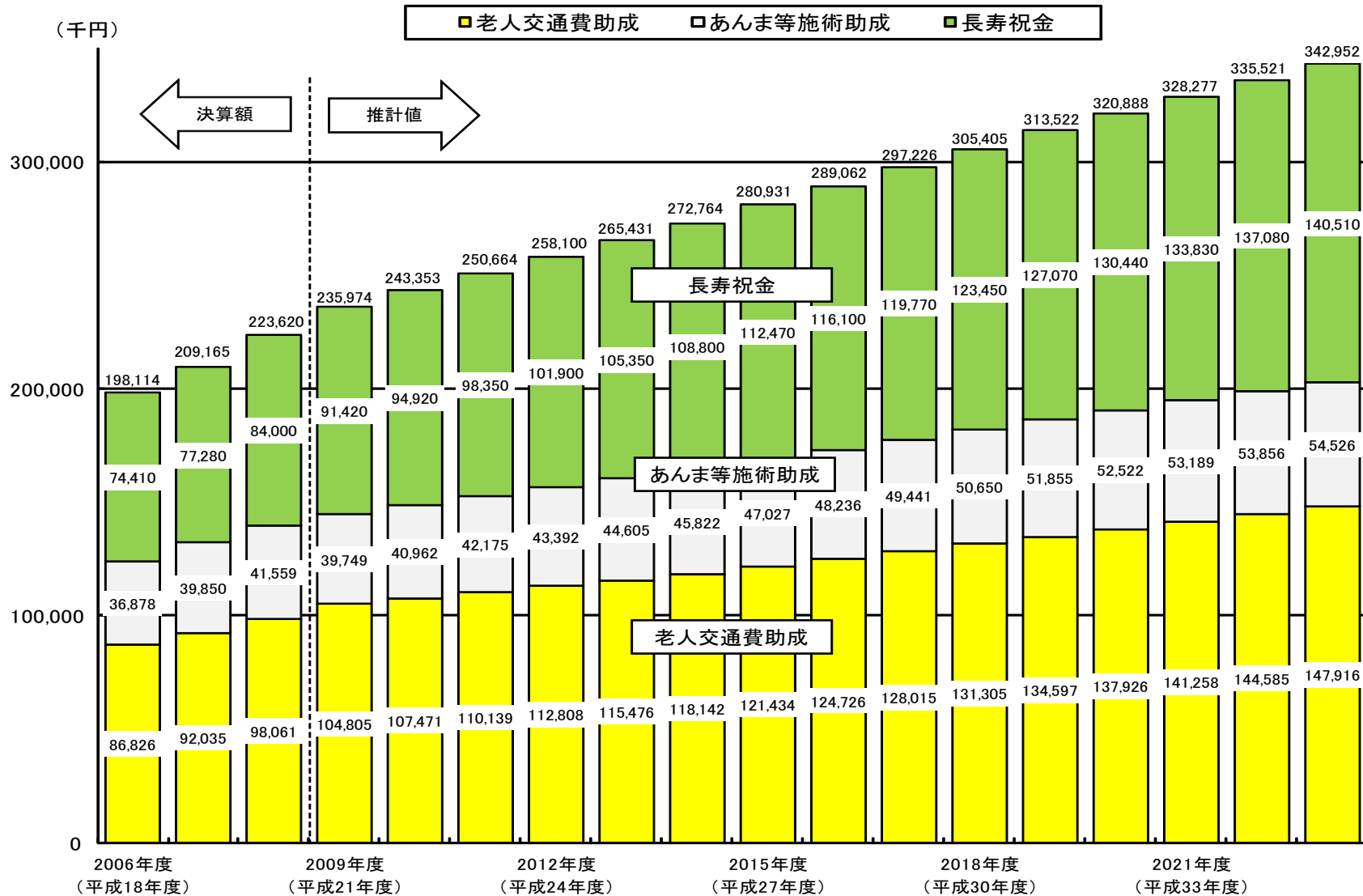
これまで高齢者に敬意を表し、社会参加や生きがいづくり、健康づくりを目的に、単市事業として「老人交通費助成」「あんま等施術助成」「長寿祝金」等の事業を行ってきたが、いずれも事業開始から30～40年経過しており、この間、介護保険制度や介護予防のサービスも実施され、社会情勢も大きく変化してきた。また、長寿社会を反映し、財務的負担も確実に増加していくことが予測される中、今日までの事業の成果や課題を整理し、今後のあり方を検討する時期にある。

事業創設までの取り組みについて

（２００８年度（平成２０年度）検討資料より）

事業名	老人交通費助成	あんま等施術助成	長寿祝金(敬老祝金)
開始年度	1976年度(昭和51年度)	1975年度(昭和50年度)	1968年度(昭和43年度)
対象者	満75歳以上の人	満70歳以上の人, 後期高齢者医療被保険者, 68歳以上の生活保護受給者	満77歳・満88歳・満99歳・満100歳以上の人
制度概要	バス・タクシーで利用出来る共通乗車券3,000円分(年間)を支給する。	あんま・はり・きゅう等の自由診療で使用出来る6,000円分(年間)の助成券を支給する。	満77歳の人へ1万円, 満88歳の人へ2万円, 満99歳の人へ3万円, 満100歳以上の人へ5万円を支給する。
2008年度 (平成20年度) 予算額	94,545,000円	37,500,000円	84,600,000円
2007年度 (平成19年度) 決算額	92,034,850円	39,850,000円	77,280,000円

参考資料：
 個人給付3事業（老人交通費助成・あんま
 等施術助成・長寿祝金）を継続した場合の
 事業費の推計値



事業創設までの取り組みについて (2008年度(平成20年度)検討資料より)

【検討会の設置】

検討にあたっては、高齢者福祉事業として実施してきた事業の新たな枠組みへの転換も視野に、関係諸団体の意見を広く聴取し検討する必要がある。

そのため、「福山市高齢者福祉事業のあり方検討会」を設置して、事業の趣旨や内容を説明するとともに、市民と協働して効率的かつ効果的な質の高い事業を構築する方向で広く聴取するものである。

(構成員)

老人クラブ連合会(2人) 自治会連合会(1人) 女性連絡協議会(1人)

福祉を高める会連合会(1人) 連合民生・児童委員協議会(1人)

社会福祉協議会(1人) 商工会議所(1人) 連合広島福山地域協議会(1人)

老人福祉施設連絡協議会(1人) 市民代表(5人)

事業創設までの取り組みについて

(2008年度(平成20年度)検討資料より)

【検討内容】

- (1) 高齢社会を安心と活力あるものにしていくための支援策の検討
- (2) 今後の高齢者ニーズに対応した事業のあり方について検討

【検討経過】

- 第1回 2008年(平成20年)9月4日(木)
 - 概要説明, 3事業のあり方検討
- 第2回 2008年(平成20年)10月15日(水)
 - 概要説明, 3事業のあり方検討
 - (市でたたき台を提示するようにとの意見)
- 第3回 2008年(平成20年)11月4日(火)
 - 市の提示したたたき台をもとに検討
- 第4回 2008年(平成20年)12月19日(金)
 - 検討会としての方向性を整理

事業創設までの取り組みについて

(2008年度(平成20年度)検討結果より)

	2008年度(平成20年度)	2009年度(平成21年度)以降
	老人交通費助成事業 (おでかけ乗車券)	同左(2009年度(平成21年度)から変更)
目的	社会参加を促すことにより老後の生きがいを高める。	同左
根拠	福山市老人交通費助成事業要綱	同左
対象年齢	75歳以上	市民税非課税者(高齢者の約7割)
給付内容	1人3,000円分の乗車券	同左
対象者数	48,011人	33,487人
交付者数	39,934人(対象者の83.2%)	27,415人(対象者の81.9%)
		高齢者おでかけ支援事業 (2009年度(平成21年度)から)
目的		外出支援が必要な高齢者が積極的に地域活動や社会参加が出来るよう、地域住民・団体と協働して外出支援を行い、高齢者福祉の充実を図る。
事業内容		小学校区を単位として、地域住民との協働により外出支援活動を実施することとし、運行管理業務は地域の実施団体に委託する。
対象者		学区内の概ね75歳以上の外出支援を必要とする乗降に介助の必要のない高齢者

高齢者おでかけ支援事業について

高齢化や公共交通機関が利用しにくい等の理由により，高齢者の方々が地域活動や社会参加をしたり，通院や買い物等をしたりすることが困難な地域において，小学校区を単位として地元住民・団体の方々が主体となって，高齢者の方の無償での送迎を行う事業です。

2009年度（平成21年度）から事業を開始し，現在は9学区において事業を実施している。

実施学区（事業実施順）

常金丸・常石・山野・走島・内浦・服部・熊野・山南・日吉台

事業実施までの取り組みについて

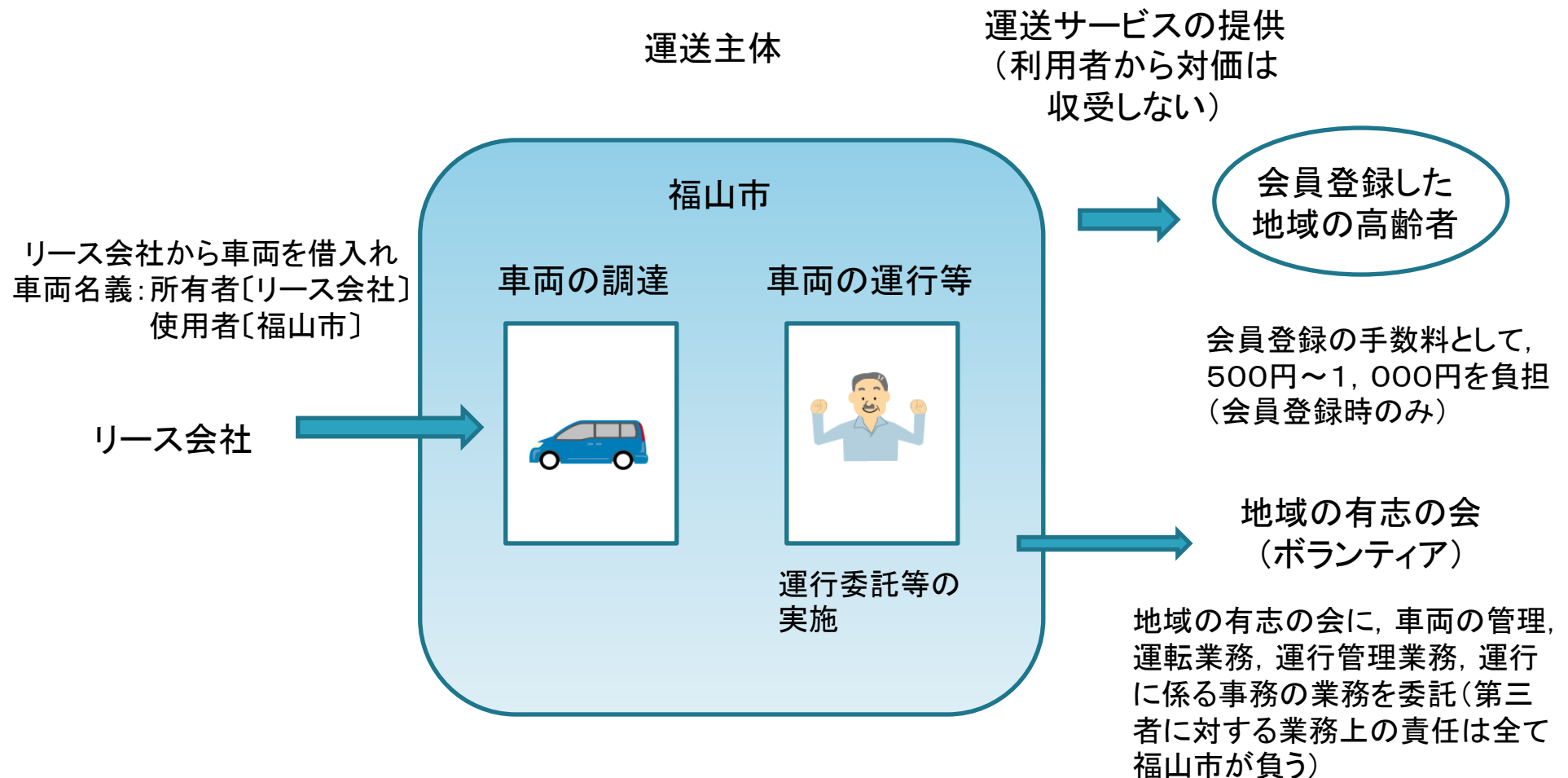
【説明会の開催】

市内全小学校区のまちづくり推進委員会，自治会（町内会）連合会，福祉を高める会連合会の3団体を対象に，高齢者おでかけ支援事業についての説明会を開催し，モデル学区を募集した。また，実施意向のある学区には，個別に出向いて説明を行った。

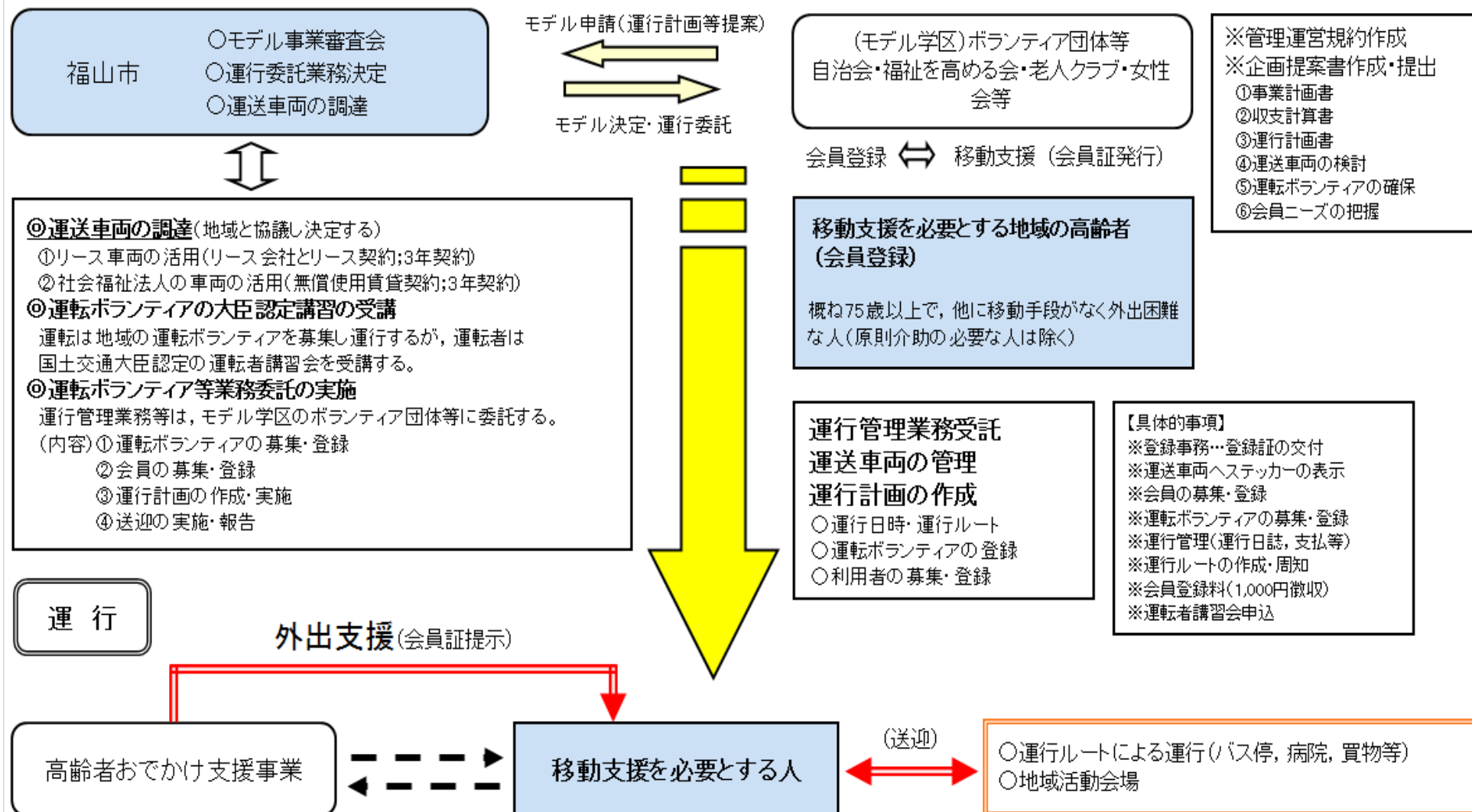
【運輸局との調整】

高齢者おでかけ支援事業が道路運送法に違反することがないよう中国運輸局と協議を行った。

福山市高齢者おでかけ支援事業実施イメージ



福山市高齢者おでかけ支援事業実施までの流れについて



福山市高齢者おでかけ支援事業実施状況について

学区名	構成団体	使用車	定員	運行回数	運行曜日
常金丸	・自治・福祉	ワゴン車	8名	週4日	月・火・木・金
常石	・自治・福祉・ボラ	ワゴン車	8名	週4日	月・火・水・金
山野	・まち・福祉・町内・ボラ	セダン	5名	週4日	月・火・水・木
走島	・自治・福祉・女性・ボラ	軽自動車	4名	週3日	月・火・木
内浦	・自治・福祉・ボラ	ワゴン車	8名	週5日	火・水・木・金・日
服部	・まち・老人・福祉・女性	ワゴン車	8名	週5日	月・水・木・金・土
熊野	・まち・福祉・老人	ワゴン車	8名	週5日	月・火・水・木・金
山南	・福祉・民生・自治・公民・ボラ	ワゴン車	8名	週4日	月・火・水・金
日吉台	・福祉・民生・自治・公民・ボラ	ワゴン車	8名	週2日	木・金

構成団体略称について・・・

自治・町内(自治会・町内会連合会)

ボラ(ボランティアの会)

老人(老人クラブ連合会)

公民(公民館・運営委員会)

福祉(福祉を高める会)

まち(まちづくり推進委員会)

女性(女性会)

民生(民生・児童委員会)

実施学区とその高齢化率 (2014年(平成26年)7月1日現在)

常金丸学区: 32.2%

山野学区: 49.3%

服部学区: 36.7%

日吉台学区: 15.6%

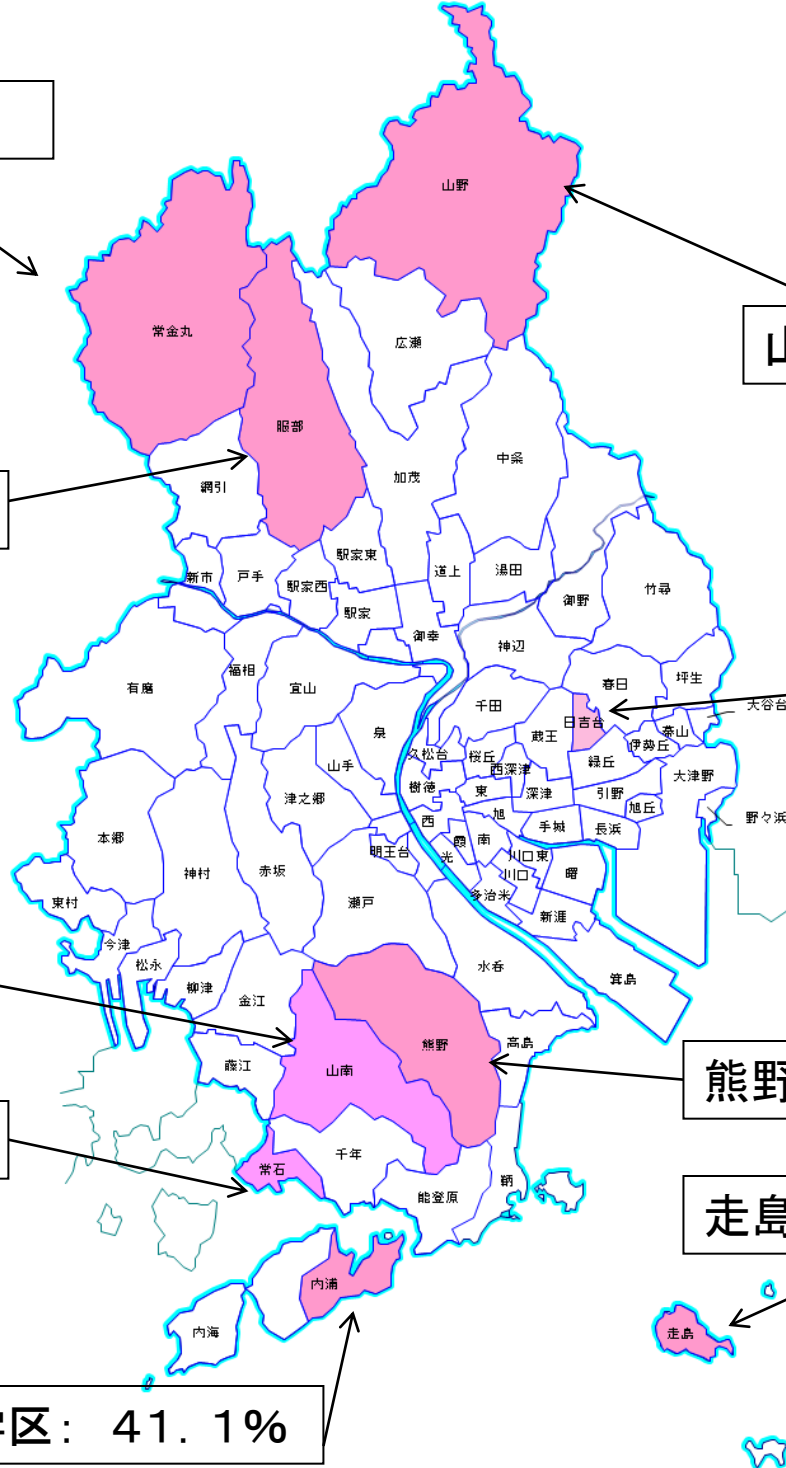
山南学区: 30.1%

熊野学区: 35.6%

常石学区: 24.7%

走島学区: 61.9%

内浦学区: 41.1%



福山市高齢者おでかけ支援事業実施状況について

【主な運行目的】

通院，買物，ふれあいプラザ・公民館等の利用，郵便局・金融機関の利用，学区行事への参加等

学区名	運行日数	運行回数	利用者数	走行距離数	会員数	運転 ボランティア数
常金丸	190日	363回	1,653人	5,521.2km	87人	22人
常石	178日	350回	1,202人	3,777.0km	64人	4人
山野	189日	287回	586人	5,334.0km	56人	17人
走島	153日	534回	1,491人	3,182.0km	46人	10人
内浦	252日	452回	1,863人	10,897.0km	57人	11人
服部	248日	505回	2,236人	7,474.0km	58人	19人
熊野	245日	246回	1,554人	11,133.0km	67人	6人
山南	201日	201回	1,456人	3,697.0km	24人	16人
日吉台	37日	48回	322人	574.5km	26人	15人
合計	1,693日	2,986回	12,363人	51,589.7km	485人	120人

2014年度(平成26年度)実施状況(会員数・運転ボランティア数は、2015年3月末現在)。
日吉台学区は、2014年(平成26年)11月より運行開始。

福山市高齢者おでかけ支援事業成果と課題等について

【課題】

- ・ 利便性の向上に向けた、コース・乗降場所の工夫
- ・ 運転ボランティアの高齢化に備えた後継者の育成
- ・ 利用者数の増加による、運行回数の変更

【工夫している取組等】

- ・ 住民が利用出来るようにコース・乗降場所を見直す。
- ・ 行事への臨時運行を可能な限り行い、会員に参加してもらえるようにする。

【利用者の声】

「外出を助けてもらってありがたい。」

「いきがいのある生活が出来る。」

「サロン活動に参加しやすくなった。」

「交通手段がなく困っていた。買い物が便利になり、楽しみが増えた。」

【ボランティアの声】

「運転ボランティアとしておでかけ支援事業に携わることで、自らの社会貢献、いきがいづくりに繋がっている。」





これからの目指す事業のあり方について

●利用者

利用を必要とする方の登録やニーズの把握

●事業の継続

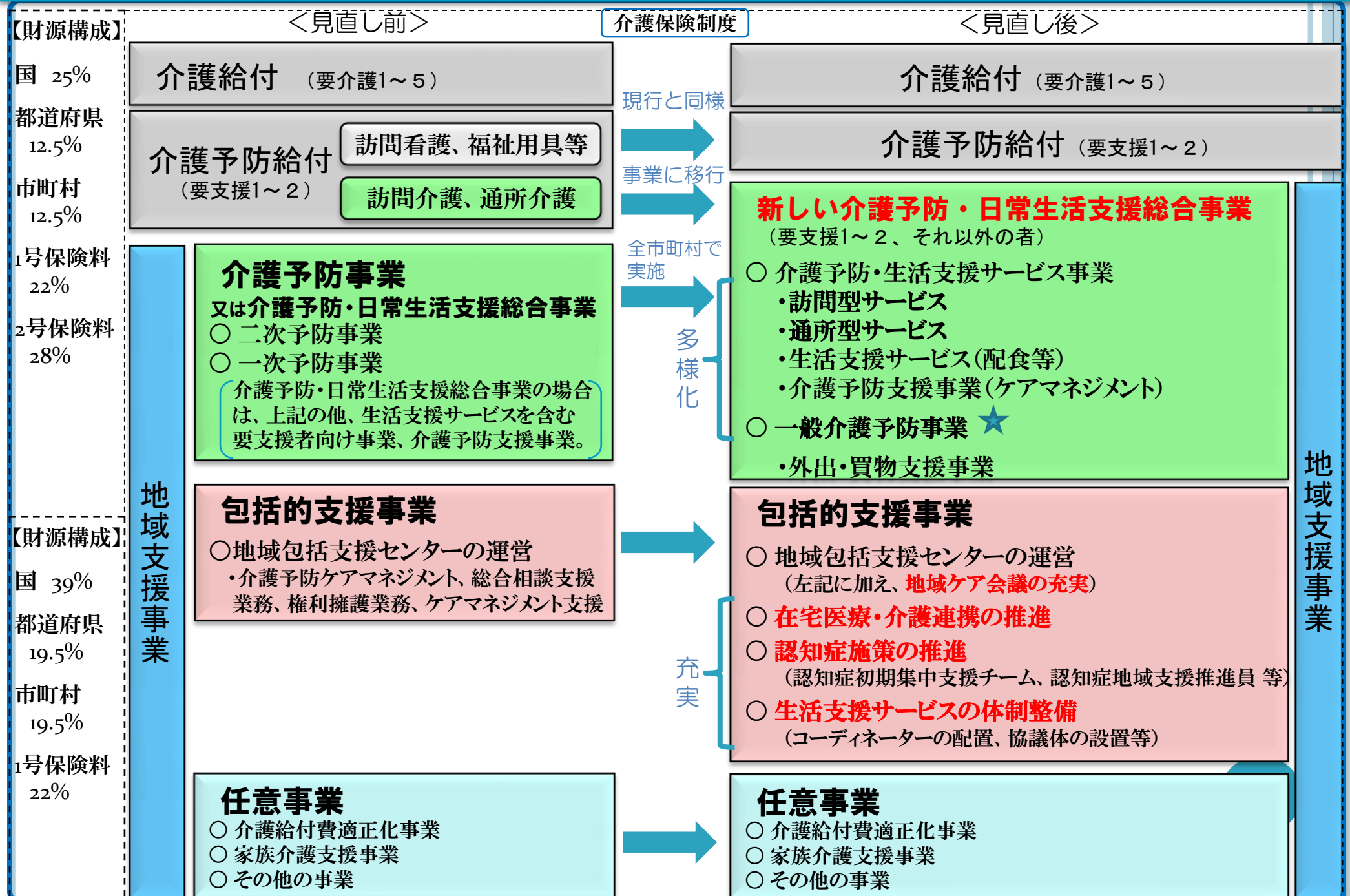
運転ボランティアや事務局の方の負担を減らしながらの事業の継続
とより多くの方の事業への参画

●安全

事業に従事していただいている方と利用されている方の安全の確保

- ＊異常気象時の運転は控える
- ＊運行前・運行後の点検，運転日誌の記録
- ＊車両の故障や緊急時の対応
- ＊利用者の体調の確認

介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)の構成



心豊かなまちづくり (高齢者施策：地域包括ケアシステムの構築)

地域包括ケアシステムの取組み

